

新発田市 平成 30 年度 第 5 回定例記者会見

1 日 時 平成 30 年 8 月 10 日 (金) 午後 11 時 ~

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

新発田市における湯水等への対策

香港・シンガポールへのトップセールス

スポーツ・カルチャーツーリズムの取組

城下町新発田まつり

歴史図書館会議室を学習スペースとして特別開放

松岡地区 奉納花相撲

原ゆたか先生 お絵かき会 & 講演会

こわいおはなし会

札の辻キッズランドで水遊びしよう！

○小・中学生による新発田城清掃活動(クリーンプロジェクト)

○グリーンカーテンプロジェクト 2018 in しばた「グリーンカーテン料理レシピコンテスト」

○新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏婚活支援事業「恋してガレット♥あなたに酔いたいサンテリア」

新発田市所蔵美術作品展「こんじょう 今生の華 はな 高橋美則の みのり 萬葉の世界 まんよう」

○「ジェントル フォレスト ジャズ バンド ライブ Gentle Forest Jazz Band Live」

○「高校音楽祭」

○介護予防川柳応募作品展示

「市民将棋大会」

「花市」

菅谷地区「食の循環によるまちづくり」がスタート

あいさつ

それにしても、本当に大変な水不足ということであります。調べましたら、赤谷に観測所ができたのが昭和 51 年だということでありまして、それ以降の中で、今回が一番の水不足、降水量が少ないということになっています。

深刻な状況が続いていますが、少なくとも市民の命をつなぐ飲料水、あるい

は農業用水については、万難を排してでも提供をしていこうということで、先ほど会議を開いて、確認をし、指示をしたところであります。

最初に、渇水に対する緊急対策からお話しいたします。

長期にわたって高温及び降雨が少ない状態が続いており、内の倉ダムでは、昭和 49 年の供用開始以来、最速で貯水率が低下するなど、かつて経験した事のない状況に直面しています。こうした状況を受け、7 月 29 日（日）を皮切りに、随時、関係部署による渇水等対策調整会議を開催するとともに、全庁を挙げて、現状の把握と対策の実施を行っています。

まずは、市民生活を支える水についてです。

内の倉ダムの貯水率は、今日の 9 時 30 分現在で 8.1%です。給水制限など市民生活に影響を及ぼすことがないように、体制をしっかりと整えています。「広報しばた」8 月 3 日号には緊急チラシを折り込み、市民の皆様にも節水の協力を呼び掛けるとともに、取水制限などにより、内の倉ダムからの生活用水の確保が困難になった場合でも、阿賀野川水系の新潟東港地域水道用水供給企業団からの取水を増量するなど、既に対応しています。十分な降水があるまでは、市民の皆さんの協力を得ながら、生活用水は何としてでも確保していきたいと思っています。節水はお願いしますが、給水制限は阻止したいと考えているところです。

次に、農業分野では、8 月 4 日（土）から、水田等の渇水対策として、田んぼへの給水に係る経費の補助を実施しました。県も 8 月 3 日（金）から、農作物等干ばつ被害の応急対策として、土地改良区等が行う対策や市町村が実施する対策への支援を始めましたが、新発田市では迅速に、直接、農業者等に対する緊急支援を実施しています。あわせて、JA 北越後に働き掛けをして、農業者に助成する水田のかん水に使用するポンプの燃料費の助成についても、速やかに対応いただきました。なお、今回の緊急支援については、既に JA 北越後を通じて農家の皆さんに案内文を配付しました。

少しでも水稻農家の皆さんの役に立ちたいとの思いで、8 月 2 日（木）には、高浜地区にある市道の消雪パイプ用井戸を活用し、直接、用水路に地下水の供給を始めました。また、土地改良区からの要請を受け、市道と県道を合わせて全部で 15 か所の消雪パイプ用井戸を活用する対策をとりました。

また、し尿等下水道投入施設「新発田クリーンアップいなほ」の地下水を活用する対策も取りました。

8月9日(木)までに、高浜地区の市道1か所、紫雲寺地区の県道3か所、クリーンアップいなほ1か所では、すでに供給を行っています。また、今日8月10日(金)以降には、五十公野、川東、加治郷土地改良区、新発田土地改良区の市道7か所・県道4か所においても供給を開始する予定にしており、合計で、16か所において地下水の供給を行います。

空気や草木が乾燥し、水が少ない中、最も怖いのは火災です。既に、市内でも下草火災が発生しています。お陰様で大事には至っておりませんが、「広報しばた」8月3日号への折込チラシでも呼びかけているほか、市消防団による、市内全域を対象とした火災の予防を呼びかける広報活動を7月31日(火)から8月10日(金)まで実施しています。また、8月13日(月)～17日(金)までは、市地域安全課の職員による広報活動を行います。野焼き・たき火の禁止については、エフエムしばた、市ホームページ、あんしんメールで周知しています。

さらに、熱中症予防について、ホームページやSNS、エフエムしばた、あんしんメールにより、注意喚起を行っているほか、一人暮らしの高齢者や障がい者への対応も十分に配慮する必要があるため、介護サービス事業者への見守り・声掛けの徹底や民生委員による訪問や電話等での安否確認を行っています。夏休み中ではありますが、大切なお子さんをお預かりする保育園・幼稚園・認定こども園、小・中学校なども同様に対応を徹底しています。

8月8日(水)には、阿賀北首長会の総会を開催しました。その際に、花角県知事就任後、県内で初となる「知事と市町村長とのブロック懇談会」が、この阿賀北地域で行われました。今後、渇水に関わる被害が拡大することも予想されることから、阿賀北首長会から県知事に直接要望書を手渡し、さらなる支援の拡充を要請しました。

次に、香港・シンガポールへのトップセールスについて

7月30日(月)から8月3日(金)の間、トップセールスとしては初めて、香港とシンガポールを訪問しました。これまでは、新潟空港への直行便のあ

る都市をターゲットに、ハルビン、上海、台湾、韓国へ働き掛けを行ってきました。今回は、直行便だけではなく、成田空港からの乗り継ぎに伴う誘客のほか、今年3月に、関西国際空港と新潟空港の間でLCC定期路線が就航したことを受け、関西圏を経由した本市への誘客にもアプローチすることを目的に、両都市を訪問したものです。

今回は、旅行エージェント6社と成田・羽田両国際空港を経由した団体ツアーの誘客について商談を行ったほか、関西国際空港からLCC定期路線を活用したオプションツアーのPRを行いました。

現地では、直行便のないエリアからの誘客方法として、団体旅行向けに、全日空を利用し、成田国際空港を経由したアドオンによる新潟空港への誘客。また、個人旅行向けにLCC航空のピーチを利用し、関西国際空港を経由した新潟空港への誘客など、具体的な話し合いを行ってきました。

また、新発田産米の輸出について、シンガポールと香港に支店を持ち、アジアを商圏とする卸売業者「俵屋玄兵衛」や、大手百貨店である「伊勢丹」や「高島屋」のほか、日本の米や酒をはじめとした食料品の輸入販売や日本料理の食堂事業を展開する「さくらやフーズ」、上越市を本拠地に海外事業を展開する「富寿し」、あるいは、香港の和食店「すきやき 森」などの現地飲食店とも商談を行いました。

中でも、「伊勢丹」からは新発田産米の取り扱いについて、前向きに検討していただけるとの回答があったほか、「富寿し」との商談では、新発田産米の取扱いについて前向きに検討するとしたうえで、同店舗内での「新発田乃殿様献上米」の小売販売については、「すぐにでもやりたい」との回答をいただきました。

また、すでに新発田産米を使用している「すきやき 森」の店主からは、「いろいろな産地の米を試して『ねばり、旨み』のバランスがよい新発田産米を選んだ。お客様からも美味しいと評価していただいている」といったお話を聞くことができました。私からも、使っていただいている米は、新発田のチャンピン米であり、自信を持って送り出していることをPRし、一層の活用について好感触を得ることができました。

今後の新発田産米の輸出拡大へ向けて、更なる手ごたえをつかんだところで、これらの相手先に対する米の海外輸出については、新発田の米の輸出を

行っているワッカジャパンの現地法人である「俵屋玄兵衛」と連携し、今秋から現地に輸出の窓口を開くなどの調整を進めていきます。

何とかこの災害ともいうべき、渇水による苦難を乗り越え、美味しい新発田産のお米を守り、今回のトップセールスをきっかけに、次のステップへと取組を進めたい、観光誘客促進と物産販路拡大に、拍車をかけていきたいと考えています。

次に、「スポーツ&カルチャーツーリズムの新たな取組」について

当市では「スポーツ&カルチャーツーリズム」に取り組んできましたが、これまでは、大学や高校を中心に合宿等の誘致活動を進めてきました。更に一歩前進して、実業団や企業などを新たなターゲットとして働き掛けてきましたが、この度、フィットネスクラブ「ゴールドジム」の野球チームとバスケットボールチームの合宿を誘致できました。

昨今、従業員の健康増進を重視する「健康経営」の観点から、「社員部活動」を進める民間企業も増えていると聞いています。こうした動きをチャンスと捉え、合宿の誘致拡大につなげたいと考えています。また、同社の野球部は全日本クラブ野球選手権大会で、ベスト4に入る強豪チーム。合宿中の練習試合は、無料で観戦できるそうですので、ぜひ、強豪チームのプレーを多くの皆さんに楽しんでもらいたいと思います。

次に、「城下町新発田まつり」について

いよいよ新発田の夏を彩る「城下町新発田まつり」が近づいてきました。

この季節は各地で花火が上がりますが、8月23日(木)に行われる新発田まつりの花火は、まち中に居ながらにして見られること、そして、新発田城の姿と、その上空を彩る花火のコラボレーションを観て欲しいと思います。

今回は、音楽が流れる中、約400発の花火を打ち上げます。中でも、今年は企業より協賛を多くいただき、「スターメイン」の本数を増やし、組花火にして打ち上げるため、一層華やかさが増した内容となります。

8月26日(日)から28日(火)にかけては、「札の辻広場」や商店街を中心に、躍動感あふれるよさこいチームの演舞や、流麗な「民踊流し」、華やかな「まつりパレード」などの催し物が行われ、8月29日(水)には、ま

つりのハイライト「帰り台輪」です。

今年は、「しばたっ子台輪」が、初めて札の辻広場内を運行します。新たなまつりの楽しみとして、定着させたいと期待しています。

また、6町内の台輪が、ヨリネスしばた前の交差点に集結し、一斉あおりを行う光景は、勇壮なまつりの一番の見せ場です。観客の皆さんには、最高潮に達したまつりの熱気を感じていただきたいと思っています

次に、歴史図書館会議室の特別開放について

7月に開館した歴史図書館の会議室を、8月中の利用予定がない日に限り、子どもたちの学習スペースとして特別に開放します。子どもたちの学力向上のために、夏休みは大切な期間です。この大変な猛暑の中、少しでも快適な環境で宿題や受験勉強に取り組んでもらうため、公共施設を有効活用します。

また、子どもたちが歴史図書館を利用することで、新発田の歴史にふれ、興味を持つ「きっかけ」になることを期待しています。「イクネスしばた」、「ヨリネスしばた」と合わせ、歴史図書館の会議室も利用し、暑い夏に負けずに勉学に励んでいただくことはもちろん、ぜひ、ふるさとの歴史に目を向ける機会にしてほしいと考えています。

そして、松岡地区「奉納花相撲」について

○8月14日(火)に、松岡地区の石動神社^{いするぎ}で「奉納花相撲」が行われます。

松岡地区で約350年前から続いている伝統行事で、家内安全、五穀豊穡を願い、石動神社^{いするぎ}に相撲を奉納しているものです。当日は、地元の小・中学生、高校生による取り組みもあり、子ども達が地域の歴史・文化を体感し、継承していくための大変良い機会です。

子どもの頃から、地域の魅力を肌で感じ、心に刻むことは、地元への愛着の醸成に役立ち、しばたの心を育んでいくことになり、そのことが、引いては定住やUターンへとつながっていくもの。今後は、各年代において、新発田の歴史や文化に触れる機会を、数多く作っていく取組に、ぜひとも着手していきたいと考えています。

このほかの情報をして、最初に、夏休みでもありますので、子ども向けのイベントを紹介します。

イクネスしばたでは、人気漫画「かいけつゾロリ」の作者・原ゆたか先生による「お絵かき会」と「講演会」があるほか、中央図書館の「こわいおはなし会」、ヨリネスしばた札の辻広場で水遊びが楽しめる「札の辻キッズランド」があります。

また、本丸中学校の生徒会が自主的に企画し、外ヶ輪小学校の児童と一緒に新発田城を清掃する「クリーンプロジェクト」や、「グリーンカーテン」の収穫物を活用した「グリーンカーテン料理レシピコンテスト」があります。

さらに、胎内市・聖籠町と連携して行う婚活支援事業として、胎内市の米粉や聖籠町のぶどうなどを使って料理を作る「恋してガレット・あなたに酔いたいサンタリア」があります。

芸術・音楽関係のイベントとして、市所蔵美術作品展「こんじょう 今生の華 はな 高橋美則 みのり の まんよう 萬葉世界」があるほか、CM出演などで話題の踊る指揮者・ジェントル久保田さんが率いる「ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド」のライブ、「高校音楽祭」があります。

また、毎年恒例の「介護予防川柳応募作品の展示」、「市民将棋大会」、お盆の準備をする方々で賑わう「花市」があります。

最後に、菅谷地区の女性グループが取り組む「食の循環によるまちづくり」が本格的にスタートした話題を情報提供しています。

ぜひ、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。